

生物（理系）	単位数	5 単位	実施予定授業数	175時間
--------	-----	------	---------	-------

### 1. 学習の到達目標

学習の到達目標	2年での学習に続き、生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。さらに生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
使用教科書・副教材等	「生物」数研出版 「新生物図表」浜島書店 「セミナー生物基礎＋生物」第一学習社 購入予定；「生物の必修整理ノート」文英堂、センター対策用問題集（夏以降）

### 2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい
第1学期	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生	4	○染色体に遺伝子が存在することを学習した上で、有性生殖では、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解する。 ○動物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を学習する。また、細胞の分化や形態形成のしくみについて、誘導現象を中心に理解すをし、前後軸形成のしくみと形態形成を調節する遺伝子について学習する。 ○植物の配偶子形成・受精と胚発生の過程を学習し、器官分化における遺伝子のはたらきについて理解する。
	第3編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動	5	
		6	
	[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○課題・授業プリント		
[テスト範囲] 各考查間の学習範囲を指示する。			
[第1学期の評価方法] 考查の結果と出席状況等により総合的に判断し、10段階評定とする。			
第2学期	第6章 植物の環境応答	7	○植物は成長を調節するなどして環境に応答していることを理解する。その上で、環境応答にはさまざまな植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。 ○個体群や生物群集について、それぞれの特徴や生態系における物質生産について学習する。さらに、生物多様性に影響を与える要因を理解させ、生物多様性の重要性を認識する。 ○生命の起源および生物の変遷や生物の進化のしくみを学習する。その上で、分子進化の概念や種分化のしくみについても学習する。 ○生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解する。個々の分類群については、その概要を学習する。
	第4編 生体と環境 第7章 生物群集と生態系	8	
	第5編 生物の進化と系統 第8章 生物の起源と進化	9	
	第9章 生物の系統	10	
[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○課題・授業プリント			
[テスト範囲] 各考查間の学習範囲を指示する。			
[第2学期の評価方法] 考查の結果と出席状況等により総合的に判断し、10段階評定とする。			
第3学期	特別編成授業	11 12 1 2	問題演習を中心として、生物学の基本的な概念や原理・法則の定着を計る。
	[課題・提出物等] 授業の中で指示する。		
	[テスト範囲] 授業の中で指示・実施する。		
	[第3学期の評価方法] 1・2学期と同様とする。		
[年間の学習状況の評価方法] 各学期の評定を総括し、年間の5段階評定とする。			